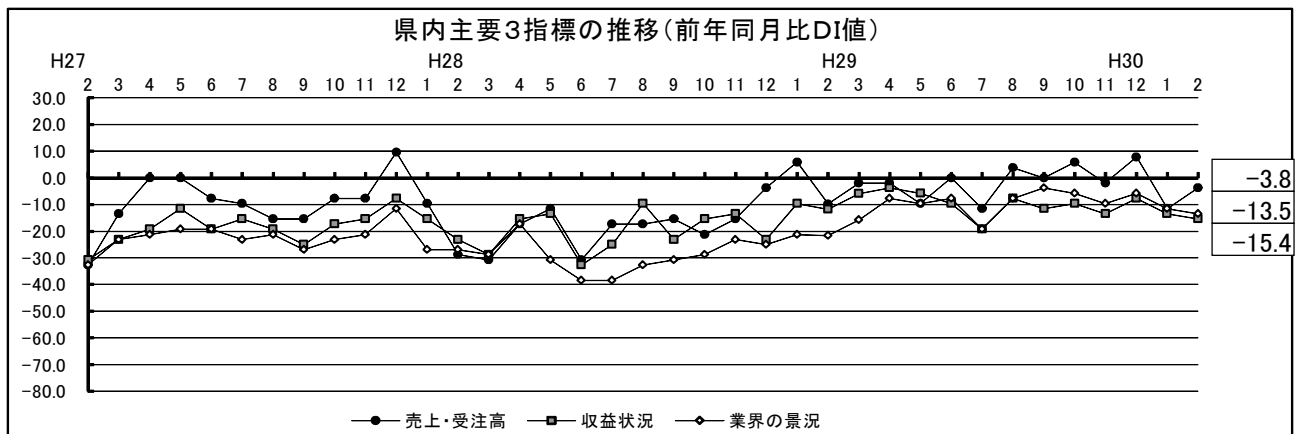


中小企業団体情報連絡員報告結果(平成30年2月分)

栃木県中小企業団体中央会

この報告結果は、栃木県中央会において設置している中小企業団体情報連絡員（中小企業組合（協同組合、商工組合等）の役職員52名に委嘱）による、所属組合の組合員企業の全体的な景況です。

- 2月の前年同月比DI値は、前月の前年同月比DI値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「資金繰り」「設備操業度」が上昇し、「収益状況」「雇用人員」「業界の景況」が下降した。
- 主要3指標は、「売上高」が前月より7.7ポイント上昇の-3.8ポイント、「収益状況」が1.9ポイント下降の-15.4ポイント、「業界の景況」が2.0ポイント下降の-13.5ポイントであった。
- 下落幅が著しかった前月の結果に続き、当月も厳しい結果となった。依然として収益状況が低下を続けるなど、年度末需要の動きを前にして、さらなる製造コストの増大や雇用難・労働力不足も依然逼迫しているようである。



主要3項目	県内		全国	
	DI値	前月比	DI値	前月比
売上・受注高	-3.8	+7.7	-12.9	-0.5
収益状況	-15.4	-1.9	-19.2	-0.1
業界の景況	-13.5	-2.0	-16.7	+0.1

売上・受注高

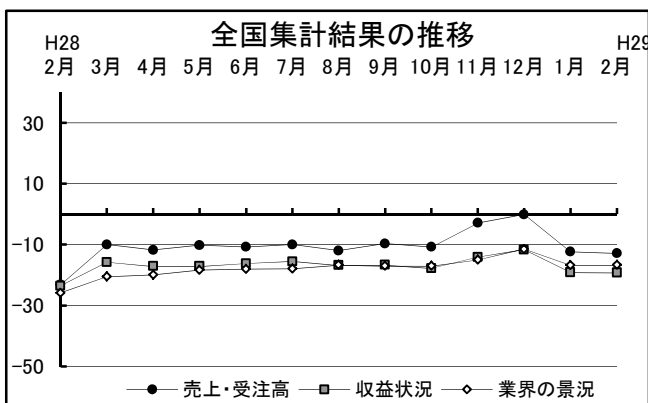
当月の県内売上・受注高DI値は、前月より7.7ポイント上昇の-3.8ポイントとなった。全国においては、前月より0.5ポイント下降の-12.9ポイントとなった。

収益状況

当月の県内収益状況DI値は、前月より1.9ポイント下降の-15.4ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント下降の-19.2ポイントとなった。

業界の景況

当月の県内業界の景況DI値は、前月より2.0ポイント下降の-13.5ポイントとなった。全国においては、前月より0.1ポイント上昇の-16.7ポイントとなった。



-概況-

2月の前年同月比D I値は、前月の前年同月比D I値と比べて、9指標中「売上高」「在庫数量」「販売価格」「取引条件」「資金繰り」「設備操業度」が上昇し、「収益状況」「雇用人員」「業界の景況」が下降した。主要3指標は、「売上高」が前月より7.7ポイント上昇の-3.8ポイント、「収益状況」が1.9ポイント下降の-15.4ポイント、「業界の景況」が2.0ポイント下降の-13.5ポイントであった。下落幅が著しかった前月の結果に続き、当月も厳しい結果となった。依然として収益状況が低下を続けるなど、年度末需要の動きを前にして、さらなる製造コストの増大や雇用難・労働力不足も依然逼迫しているようである。

業種別の状況を見ると、図表4のとおり、「売上」は製造業で7業種中2業種が上昇、1業種が低下し、非製造業で6業種中3業種が上昇、2業種が低下した。「収益」は製造業で2業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で1業種が上昇、2業種が低下した。「景況」は製造業で7業種中1業種が上昇、2業種が低下し、非製造業で2業種が上昇、2業種が低下した。

大雪や人手不足の深刻化、コスト負担増などが主な下押し圧力となっている。企業経営を圧迫しているコスト負担への早急な対応が迫られている。

図表1～【業種別・指標別動向一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	△	×	△	△	×	△	△	△	×
繊維・同製品	△	△	△	△	△	△	△	△	△
木材・木製品	×	△	△	△	×	×	△	×	×
印刷	△	△	△	△	△	△	△	△	△
窯業・土石	△	△	△	△	△	△	△	△	△
鉄鋼・金属	○	△	△	△	△	△	△	△	△
一般機器	△	△	△	△	△	△	△	△	△
卸売業	△	△	△	△	△	△	—	△	△
小売業	×	×	△	△	×	△	—	△	×
サービス業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
建設業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
運輸業	△	—	△	△	△	△	—	△	△
その他	○	—	○	△	△	△	—	○	△

図表2～【業種別・指標別DI値一覧表】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	-25.0	-50.0	25.0	0.0	-50.0	-25.0	-25.0	0.0	-50.0
繊維・同製品	0.0	0.0	-25.0	0.0	-25.0	-25.0	25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-75.0	-25.0	0.0	0.0	-50.0	-50.0	25.0	-50.0	-75.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	-25.0	-25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
鉄鋼・金属	75.0	-25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
一般機器	-25.0	25.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	0.0
製造業	-12.0	-16.0	4.0	0.0	-16.0	-20.0	8.0	-8.0	-20.0
卸売業	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	-57.1	-42.9	28.6	-14.3	-57.1	-14.3		0.0	-57.1
サービス業	16.7		0.0	0.0	-16.7	16.7		16.7	16.7
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
運輸業	25.0		0.0	0.0	25.0	0.0		0.0	25.0
その他	50.0		50.0	0.0	0.0	0.0		50.0	0.0
非製造業	3.7	-30.0	11.1	-3.7	-14.8	0.0		7.4	-7.4
全体	-3.8	-20.0	7.7	-1.9	-15.4	-9.6	8.0	0.0	-13.5

図表3～【指標別DI値の推移】

	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	前月比
売上高	-9.8	-2.0	-1.9	-9.6	0.0	-11.5	3.8	0.0	5.8	-1.9	7.7	-11.5	-3.8	7.7
在庫数量	-23.5	-23.5	0.0	-8.6	-14.3	2.9	-2.9	-17.1	0.0	-17.1	-2.9	-28.6	-20.0	8.6
販売価格	3.9	5.9	1.9	5.8	3.8	3.8	1.9	1.9	1.9	-1.9	3.8	1.9	7.7	5.8
取引条件	-2.0	-3.9	0.0	-1.9	0.0	-1.9	-1.9	-1.9	-5.8	-5.8	-3.8	-3.8	-1.9	1.9
収益状況	-11.8	-5.9	-3.8	-5.8	-9.6	-19.2	-7.7	-11.5	-9.6	-13.5	-7.7	-13.5	-15.4	-1.9
資金繰り	-5.9	-5.9	1.9	0.0	-3.8	-7.7	-5.8	-5.8	-7.7	-7.7	-7.7	-11.5	-9.6	1.9
設備操業度	0.0	12.5	-4.0	8.0	-4.0	-16.0	-12.0	-12.0	8.0	20.0	8.0	-16.0	8.0	24.0
雇用人員	-5.9	2.0	-3.8	1.9	-1.9	3.8	5.8	5.8	0.0	1.9	0.0	3.8	0.0	-3.8
業界の景況	-21.6	-15.7	-7.7	-9.6	-7.7	-19.2	-7.7	-3.8	-5.8	-9.6	-5.8	-11.5	-13.5	-2.0

図表4～【前月DI値差】

	売上	在庫	価格	条件	収益	資金	設備	雇用	景況
食料品製造	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0	0.0	0.0	25.0	0.0
繊維・同製品	25.0	25.0	25.0	25.0	0.0	0.0	25.0	0.0	-25.0
木材・木製品	-25.0	0.0	50.0	0.0	-25.0	-25.0	25.0	0.0	0.0
印刷	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
窯業・土石	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	75.0	0.0	0.0
鉄鋼・金属	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-25.0
一般機器	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0
製造業	4.0	12.0	12.0	4.0	0.0	-4.0	24.0	4.0	-4.0
卸売業	66.7	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
小売業	0.0	0.0	0.0	0.0	-14.3	28.6		0.0	-28.6
サービス業	-16.7		0.0	0.0	16.7	0.0		-33.3	33.3
建設業	20.0		0.0	0.0	0.0	0.0		-20.0	20.0
運輸業	-25.0		0.0	0.0	-25.0	0.0		0.0	-25.0
その他	100.0		0.0	0.0	0.0	0.0		0.0	0.0
非製造業	11.1		0.0	0.0	0.0	-3.7		7.4	-11.1
全体	7.7	8.6	5.8	1.9	-1.9	1.9	24.0	-3.8	-2.0

特記事項

情報連絡員報告（平成30年2月分）

所属組合	特記事項
和洋菓子製造業	全体的に消費は低調であり、天候の悪化(低温)のため人出が少ないようである。また、原材料の値上げが今後大きく影響が出る。
酒類製造業	栃木県産酒造好適米「夢ささら」が品種発表された。今年の秋からいよいよ県産独自の酒米で吟醸酒、大吟醸酒が造られる。来春には皆様にお披露目できる予定であり、楽しみである。
綱・網・レース・繊維粗製品製造業	トーション業界では繁忙期に入っているが、国内アパレル向けの取引先は概ね好調とは言えない状況である。特に関西圏は破産、倒産が多いと感じる。ただし、関西方面の取引先でも海外アパレルに積極的にアプローチしているところは比較的活発な動きが見られるので、今後も動きを注視していきたい。
外衣・シャツ製造業	春夏物がスタートし、工場の残業が増える。昨年よりも多少良い。昨年は製品の生産をアパレルが控えていたので在庫が少し減っているのではないかと思う。ただし、店頭の動きはこれからである。
一般製材業	組合員からの今後の売上見通しが上向きな状況にはない為、3月からは今までは夜10時迄としていた機械の時間を定時の5時～7時とし、状況を見守っていくこととした。また、手加工等の大工への外注も少なくし、経費の削減に努めている。年度末に期待している。
建具製造業	昨今、鹿沼組子の引き合いや見積りが増加しているが、実際に受注に至る案件は少ない。また、組子教室の依頼も多数ある。
印刷業	ニーズの変化、需要の停滞、過当競争、低価格、資材等の値上げなど厳しい経営環境に変わりはない。また、従業員の確保が難しくなっている。
石灰製造業	鳥インフルエンザ予防として、消石灰の動きがあり若干売上が増加したが、土質、碎石、鉄鋼関連の動きが鈍いため、トータルすると昨年並みの状況であった。
金属製品製造業	<ul style="list-style-type: none"> 自動車部品関連…自動車関連は横ばい基調。 機械設備関連…半導体関連は好調。他業種は横ばいか。 プレス金型関連…自動車部品関連は横ばい基調。工作機械関連は増加傾向。
金属製品製造業	自動車関連は、日産は減少、スバルに関しては増加傾向にある。
一般機械器具製造業	受注量はやや増えつつあるが、原材料単価が上昇傾向にあるため業況は好ましくない。
一般機械器具製造業	どの業界もバラつきがあり、一概に判断できない状況である。
一般機械器具製造業	前年同月と比較し、全般的に売上高等は横ばいとなっているが、操業度上昇傾向の企業も多々あった。また前月同様一部仕入単価の上昇ありという報告も受けている。全般的には不変という状況であった。相変わらず人手不足により納期問題、増産対応が厳しいという報告も前月同様に受けている。

各種商品卸売業	<p>今春の新卒採用状況について聞いてみたところ、各業種以下のような回答であった。</p> <p>◆理化学機材卸売業…当初の予定では2名を予定していたところ1名しか確保することができなかった。</p> <p>◆バンケット機材企画・販売業…リクルートやマイナビ等色々手を尽くし採用活動を展開したが採用には至らなかった。厳しさを痛感した。</p> <p>◆機械工具卸売業…大変苦戦している。年度末まで募集活動を実施する方針。会社の年齢構成を考えると新卒者を積極的に採用したいが現状を考えると困難なため、できるだけ若い既卒者採用の方針である。</p> <p>メーカー系列文具関係卸売業の景気については、設備投資をする取引先が増えてきた。景気は良くなってきているようだ。</p>
食肉小売業	<p>寒波の為、人の動きが悪いが売上は昨年と変わらず仕入価格が若干下がっている為、利益が確保できた。</p>
中古自動車小売業	<p>若干ではあるが、新車の販売減により下取車も少なくなっている。販売店格差も出ている。</p>
各種商品小売業	<p>近くの大型店の13店の2月末までの撤退は商店街にも影響を伴っている。依然として景況は地方にとって厳しいものである。</p>
各種商品小売業	<p>売上よりも客数の落ち込みが大きく、1月に続き天候に左右されやすい月であった。後半暖かくなるにつれ、回復基調になったが、前半の大幅な落ち込み分を埋めるまでには至らなかった。来期へ向けての課題は多いが、引き続き地元密着を第一に考え、市民の皆様に支持していただけるような施設を目指していく。</p>
花・植木小売業	<p>市況は大雪や低温の影響から前年に比べ10%程度の入荷減となり、相場は5～10%の単価高で推移した。特に、白菊、ストック、バラ、百合等は、業務とフラワーバレンタイン需要とでいっそうの単価高となった。今後、暖かくなるにつれて入荷も増えてくる見込みだが、3月の需要期に影響が出ている品目もあるようなので、しっかりと産地の状況を把握して販売につなげていきたい。</p>
理容業	<p>高齢者の廃業や、組合活動に参加するのが無理になったためという理由での脱退者が依然として続いている。組合の経済状況も組合員の減少により厳しくなってきているが、高齢者への救済措置も考えて行く必要がある。今後の課題となる。</p>
自動車整備業	<p>若干の売上増は天候による影響もあつての増加が含まれる。但し、例年のような盛況はまだ見込めずである。</p>
ビルメンテナンス業	<p>構内作業請負の事業高が増加したものの、外注費も増加し、収益は横ばいの状況。ビルメンテナンスは事業高、収益ともに横ばいで推移している。</p>
給食センター	<p>売上高は昨年あったスポットの売上がない為、減少となった。現状、米や野菜等の食材の値上げによりコストアップとなり、厳しい状況ではあるが、新規の得意先の開拓・新商品の開発・コストダウンにより、収益を改善する。</p>
旅館・ホテル	<p>宿泊の客室稼働率に関してはここ数年のトレンドのまま全体的に上昇している。レストラン・宴会・婚礼など飲食に関する部門では多様化しており、ホテル利用が全てではなくなっている。ホテル宴会、飲食店共に2月はここ数年にないほどのスローペースであった。</p>

<p>内装工事業</p>	<p>栃木県室内装飾事業協同組合の防災ラベル支給枚数からみると、前年同月比カーテン用ラベルは122%増、敷物用ラベルは28%増、壁装用ラベルは27%減であった。本年度、平成29年4月～平成30年2月累計では、カーテン用ラベル31%増、敷物用ラベル11%増、壁装用ラベル17%増であった。平成29年4月～平成30年2月支給金額では、114%増であった。前年度と比較して2倍強の売上は内装業界の好調ぶりが伺われる。</p>
<p>一般貨物自動車運送業</p>	<p>燃料価格は若干の値下げとなったが、収益に寄与するには程遠い状況に変わりはない。ドライバー不足も深刻で、有効求人倍率は全職業の2倍との報告もあり、不足解消には労働条件の改善が不可欠である。</p>
<p>貨物軽自動車運送業</p>	<p>2月度は東京マラソン関連のパンフレットの配送業務が増大し、輸出向け栃木県産いちご(とちおとめ、スカイベリー)等の農産物、家電製品、自動車関連貨物は堅調に推移した。特に新聞などの配送エリアが拡大し、売上高に大きく貢献したが、相変わらずドライバー(人手)不足により、需要に供給が追いつかず、大きな機会損失を招いている。</p>
<p>一般乗用旅客自動車運送業</p>	<p>売上等は特に変動はないが、土、日、祭日など宇都宮市内中心街は県内外のお客様が多いように感じられる。</p>
<p>大谷石採石業</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・貼石関係は、前年同月比で1割近く増加した。(なかには微減であるが昨年が例年よりも多かった為とのこと。)昨年4月の値上げの影響はほとんどなく、若手の新人雇用もあった。 ・積石関係は、数年前の大きな落ち込みを経て、前年同月比での微減の為、厳しい状況に変わりはなく、今年は、寒冷の天気にも恵まれなかった。貼石に比べ、大谷石を多く使用する為、値上げの影響は大きく、見積もり段階でブロックへの変更が多かったようだ。